埼玉協同病院

感染対策の取り組み

1. 院内感染対策の基本的な考え方

医療に関連した感染の予防に努めます。やむなく発生した感染症に対しては、迅速に感染拡大の制御と終息に努めます。

2. 院内感染対策の組織

感染対策に関する審議機関として感染対策委員会を設置しています。そして、院内の感染に関する問題に迅速に対応ができる様、感染管理医師を中心とした実働性の高い、ICT（感染対策チーム）を設置しています。

3. 感染対策に関する職員研修

感染対策について、職員に周知徹底を図ることを目的に、全職種を対象とした定期的な講習会を開催しています。

4. 感染発生状況の報告

院内の感染症発生状況の把握のため、情報の収集・管理・分析を行っています。そして、院内感染対策上の問題が発生した場合、ICTを中心に、発生原因の究明と改善策の立案・実施を行います。

当院は、厚生労働省サーベイランスシステム(JANIS)に参加しています。

5. 抗菌薬適正使用の推進

薬剤耐性菌の発生防止や抗菌薬が適正に使用されるために、AST（抗菌薬適正使用支援チーム）を設置しています。

6. 地域医療の連携

地域の医療機関や行政機関と連携し、地域の感染対策の推進と質の向上を目指して積極的に活動しています。